

市民経済委員会議会報告会報告書

報告日：令和7年12月3日

出席者	参加者	14 人	
	議会側	【市民経済委員会】 田坂委員長、鍋島副委員長、上岡委員、山田委員、向井委員、中川委員、牧尾委員 【委員外議員】 石原議員、岩崎議員、坂元議員、小池議員、原田議員	
開催日時		令和7年11月4日（火）18：00～19：30	
開催場所		八本松地域センター	
実施内容報告	議会報告	テーマ	移住・定住支援について
		概要	◎前期の所管事務調査（移住・定住支援について）の説明 ・東広島市の現状について ・調査方法と経過について ・執行部への聴き取りについて ・行政視察 青森県弘前市、八戸市 ・本市で移住定住に取り組まれている方との意見交換 ・行政視察 大分県大分市、宇佐市、豊後高田市 ・行政視察 広島県 ・執行部に対しての提言 ◎本市の空き家状況及び情報 ◎今期の所管事務調査（中小企業支援について）の説明 上記について説明した。
		質疑応答	【相手方意見】 ① 視察先の市町が、選ばれるまちになるまでには相当時間がかかっていると思われる。どのくらいかかったのか教えてほしい。 ② 移住者は移住先のことを自分で調査されていると思うが、行政としての取り組みはどうか。また、我々の地域では地元企業とマッチングを図りながら情報発信を推進している。地域に重点を置いて考えていただきたい。
			【議会側意見】 ① 年数については把握していないが、弘前市、八戸市については東京に事務所を構えてしっかり予算をつけて体制を作っている。また、補助金だけでなく人との交流に重点を置き、しっかりと対象者に向き合い対応されている。 ② 地域計画と合わせて、取り組んでいかなければならないと考える。

実施内容報告	意見交換	テーマ	移住・定住支援について
		I	移住・定住について
			【相手方意見】 地域の現状に対し、市として明確な方向性を示してほしい。
			【議会側意見】 仕事づくり、まちづくりをテーマとして移住を求め、成功事例を基に市全体に広めていこうとしている。
		II	地域の活性化のために
			【相手方意見】 ① 地元の中学一年生に対して地元の企業を知ってもらい、将来自分自身で得た知識を基にこの町に戻り、企業を盛り上げていただくような仕掛けを行政にお願いしている。 ② 若者の流出に対してしっかりその足元を見つめ分析する必要があるのではないか。
			【議会側意見】 ①②議会として執行部に対して提言できるようにしっかり取り組んでいく。
		I	相談窓口について
			【相手方意見】 どこに相談したらいいのかわかりづらいため、市民に身近な場所（例えばスーパーなど）に常駐のワンストップ窓口があればいいのでは。
			【議会側意見】 移住・定住や空き家の問題など部署が多岐にわたるため、横串で相談できる体制は市民にとって求められているものであると思う。相談のハードルを下げる必要があると考える。
		II	移住者を増やすための環境整備について
			【相手方意見】 移住・定住の施策も大事であるが、受け皿となる地域で安心安全な暮らしができる環境整備が必要である。八本松駅周辺は暗く道も狭い。
			【議会側意見】 道路は県道であり、県に対して要望をしていく必要がある。道路が暗いという点については、防犯灯設置の補助制度を積極的に活用していただきたい。

実施 内容 報告	意見交換	Ⅲ 広報内容について
		【相手方意見】 ① HP、SNS紙媒体などで「移住しませんか？」と漠然としたメッセージを発信するのではなく、ターゲットに合わせたメッセージを発信したらどうか。 ② HPでの情報発信はどのような内容か。
		【議会側意見】 ① ニーズを把握し属性・ターゲットに合わせたメッセージを発信し訴求していくことは大切だと考える。 ② 先輩移住者のインタビューや空き家情報などの情報を網羅的に載せているが、情報量が多く整理が必要かもしれない。
		Ⅳ 特色あるまちづくりについて
その他 特記事項 (感想・意見等)		【相手方意見】 第五次総合計画の地域別計画を策定され、地域振興を図られているが、地域で頑張っている人もいる。その方々をもっと広報した方がいいのではないかと。
		【議会側意見】 第五次総合計画の地域別計画実行のため地域振興部を創っている。地域で頑張っておられる方も多く、ご指摘の通りだと思う。
		<ul style="list-style-type: none">・行政頼みではなく自ら行動されている。議会としても支援できるよう取り組んでまいりたい。・既存の相談窓口など相談のハードルを下げる取り組みが必要だと考える。・ターゲットを絞った広報を行い、また、移住後の生活不安を減らす環境整備が必要だと感じた。・移住後のメリットも戦略的に打ち出すことで移住促進効果が高まると感じた。・若者の地元定着に向けた取り組みとして、中学生の段階から地元企業との接点づくりが重要であることを再認識した。八本松中学校の事例は、他地域でも展開できる可能性があると感じた。・人口減少対策においては、単に、人数を増やすことなく、地域の魅力向上と持続可能な雇用創出が本質的な課題であることが明確になった。

市民経済委員会議会報告会報告書

報告日：令和7年12月3日

出席者	参加者	20 人	
	議会側	【市民経済委員会】 田坂委員長、鍋島副委員長、上岡委員、山田委員、向井委員、中川委員、牧尾委員 【委員外議員】 谷 議員、岩崎議員、坂元議員、下向議員、木村議員	
開催日時		令和7年11月7日（金）18：00～19：30	
開催場所		志和堀地域センター	
実施内容報告	議会報告	テーマ	移住・定住支援について
		概要	◎前期の所管事務調査（移住・定住支援について）の説明 ・東広島市の現状について ・調査方法と経過について ・執行部への聴き取りについて ・行政視察 青森県弘前市、八戸市 ・本市で移住定住に取り組まれている方との意見交換 ・行政視察 大分県大分市、宇佐市、豊後高田市 ・行政視察 広島県 ・執行部に対しての提言 ◎本市の空き家状況及び情報 ◎今期の所管事務調査（中小企業支援について）の説明 上記について説明し、質疑応答は意見交換時に実施した。
	意見交換	テーマ	移住・定住支援について
		I 移住・定住について 【相手方意見】 ① 国は移住・定住に関して各種補助制度を提示しているが、人口減少対策を実効性のあるものにするためには、市役所と地域が同じ立場・目線で協働して汗をかく必要がある。 ② 志和地域は市街化調整区域のため、まちづくりを進める上での制約が多く、規制のあり方を「まちづくり」の観点から見直す必要がある。 ③ 東広島市は広島県の縮図的存在である。地域として「あるものを活かす」のは当然として、行政には「ないものを新たに作る」視点で取り組んでほしい。 ④ 情報発信は行われているが、各地域の特色や強みをより具体的に発信できる仕組みが必要である。 ⑤ 議会が視察などで他地域を視察しているのであれば、視察成果を踏まえ少なくとも一つは実際に形にしてほしい。	

実施内容報告	意見交換		<p>【議会側意見】</p> <p>①②③④執行部へ意見を伝え共有したい。</p> <p>⑤政策提言に向けて努力していく。</p>
		I	おためし移住について
			<p>【相手方意見】</p> <p>おためし移住は始まっているのか。詳細が分かれば出張所に報告してほしい。</p>
			<p>【議会側意見】</p> <p>おためし移住は予算化され現在準備中である。</p>
		II	都市計画の規制について
			<p>【相手方意見】</p> <p>空き家があっても都市計画法の規制により建物の用途変更が難しい。特区制度、移住者側のニーズをくみ取るアドバイザー制度、用途変更ができないもの等、一覧表を作してほしい。</p>
			<p>【議会側意見】</p> <p>借家などへの用途変更は可能となったが、都市計画法の規定で用途変更は難しい。市街化区域への見直しも行われているが、主に市街化区域周辺である。人口減少時代になっており、都市計画法の見直しが行われてもよいと思う。</p>
		III	空き家バンクについて
			<p>【相手方意見】</p> <p>空き家バンクのウェブサイトには、きれいにリフォームされた物件が紹介されている。どれも高価格帯である。ニーズは低価格帯である。雨漏り、動産ありなど訳あり物件として一覧の中に掲載してもいいのではないか。貸主、借主双方が納得、合意したことを契約書に明記しておけば問題は起こらない。</p>
			<p>【議会側意見】</p> <p>行政としては整った物件の紹介を考えているのだと思う。しかし、訳あり物件でも安価であれば選択肢も広がると考える。</p>
		IV	土砂災害警戒区域の相談先について
			<p>【相手方意見】</p> <p>相続した実家の一部がハザードマップの土砂災害警戒区域に少しかかっているため、空き家の補助制度が活用できない。警戒区域の指定等について市役所に相談したい。</p>
			<p>【議会側意見】</p> <p>急傾斜地については、災害河港課が担当課なので、早めに問い合わせいただき相談されることをお勧めする。</p>

実施内容報告	意見交換	I 移住・定住について	
		【相手方意見】 ① 移住に対する補助金はどこを見ればよいか。 ② そもそも過疎地で移住したい方のニーズの把握はできているのか。 ③ 移住・定住施策について報告を聞いたが今更感がある。地域はすでに取り組んでいる。 ④ 家賃については安い方が良い。しかし、貸す側は高い方が良いという差額を市が調整できないか。 ⑤ 移住者を募ることも大切だが、ここで育った子どもが、将来帰ってきてくれるような施策も必要ではないか。	
		【議会側意見】 ① 農業をしたい方や若い子育て世帯の移住など、それぞれ支援策はある。地域振興部に相談してもらおうと思う。 ② 一定数の方に限られると思うが、自然豊かな地域で暮らしたいというニーズはある。ただ、人数把握は出来ていないと思う。 ③ さらに地域と連携して行う必要があると感じている。 ④ 住む地域によって金額が安い、高い、と感じているのではないか。 ⑤ 住み馴れた故郷を魅力的なまちにしていくことも重要だと考える。	
		II インフラについて	
		【相手方意見】 瀬野川福富本郷線の便利が良くなると志和に移住される方も増えると思う。	
		【議会側意見】 拡幅工事についての計画はあると聞いているが、実施時期については聞いていない。インフラを含めて移住定住施策を行う必要があると考える。	
その他 特記事項 (感想・意見等)		・本市に移住された実体験をもとに、新たな移住・定住に結び付く効果的なアイデアを多数いただいた。これらのアイデアを執行部と共有し、移住してこられた方も、受け入れた地域の方も、より幸せを感じていただけるように調査研究を続け、新たな提案をおこなっていきたい。	